

令和5年度 KMCの指導方針等について

令和5年4月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	秋山 樹里	菊池 渉	フリーランスサポートミュージシャン	月1～2
副顧問	網本 伊吹	内藤 まりん		月1～2
副顧問	山崎 裕康	加藤 音人	本校OB、バンド活動	週1
副顧問	河野 真由子			
副顧問	中地 拓真			

2 年間目標

夏と秋の大会決勝進出 入賞
演奏技術の向上と部員間の親睦。
発表会（文化祭、学期ごとの発表会、文化部発表会）での成功。

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、
集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる
とともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

3 指導方針

バンド演奏活動を通し、演奏技術の向上、大会入賞レベルへの底上げを目指す
とともに、部員同士の親睦を深め、自主的、実践的な態度を育む。
連盟大会規則に従って、高校生としての自覚ある行動が出来るよう指導する。
駒場高校を代表する部活を目指す。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

顧問間で連携して情報を共有し合い、生徒の声をよく聴き、未然に防ぐ体制とする。
生徒間の過度の上下関係が生じないように目を配り、適宜話し合う機会を設ける。

(2) 生徒間の暴力禁止

固定したバンド活動の中で起こりうる対立は一人一人の意見を尊重し、
話し合いで解決するように指導する。

(3) 外部指導員の活用

各パート (Dr. Gt. Vo. Ba, Key) の技術指導の出来る方に依頼し、技術指導をしていただいている。

部活動指導員をはじめ本校 OBOG の協力によりレッスンを実施し、基礎演奏技術の向上、オリジナル楽曲制作技術の向上を図り、大会出場に向けた能力を養う。

5 主な年間計画

(場所は新型コロナウイルス感染症の蔓延の状況を鑑み、検討します。)

学 期	月	内 容
1 学期	4	部活動紹介 (第2アリーナ)、新入生歓迎ライブ (B棟奥)、新入生楽器体験、新入部員のバンド結成。
	5	各バンドの部室使用日の調整。新入部員に対する楽器指導。コーチによるドラムレッスン・OBOG によるオリジナル楽曲制作レクチャー会。
	6	文化祭で演奏する曲目の決定。 決定した曲をバンド毎に練習。3年引退ライブ等開催。 レコーディング。
	7	合宿 (もしくは夏季強化練習)、夏の連盟の大会。 一年生は夏のオープンキャンパスにてお披露目ミニライブを実施。 文化祭に向けて練習。MV 撮影。
	8	一年生は夏のオープンキャンパスにてお披露目ミニライブを実施。 MV お披露目会。
2 学期	9	文化祭にて演奏 (バンド演奏・アコースティックギター演奏) 秋のオープンキャンパスにてお披露目ライブ。
	10	2学期末発表会 (年忘れライブ) で演奏する曲目を決定。 決定した曲をバンド毎に練習。
	11	秋のオープンキャンパスにてお披露目ライブ。 東京大学軽音楽部との合同ライブ予定。 2学期末発表会 (年忘れライブ) に向けて練習。レコーディング。 秋の連盟の大会。
	12	2学期末発表会 (年忘れライブ)

3 学期	1	文化部発表会で演奏する曲目を決定。 決定した曲をバンド毎に練習。
	2	文化部発表会（第1アリーナ）
	3	2年生引退ライブの準備。

令和5年度 美術部の指導方針等について

令和 5（2023）年4月8日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	一ノ瀬 千晶（英語）	小松 稔（美術）	本校美術科講師（教諭）	週1
副顧問	森 暁子（数学）			
副顧問	田野倉 陽二（理科）			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・年間を通じて美術作品を制作させる。
- ・作品制作を通じて豊かな創造性を養う。
- ・共同作品の制作を通じて協同の精神を養う。
- ・作品発表を通じて主体性を養う。
- ・他人の美術作品を鑑賞させることで豊かな感受性を養う。
- ・ハイレベルの文武両道の達成を目指す。

3 指導方針

- ・通常の様子は、水曜日・金曜日（・授業のある土曜日）放課後に活動を行う。
- ・文化祭・中央展・文化部発表会等の前には、これ以外の曜日にも活動を行う。
- ・生徒の主体的創造性を最大限引き出す。
- ・技術の向上を目指すとともに、豊かな心の涵養を目指す。

4 指導内容・方法

（1）体罰・暴言等のない指導

- ・体罰・暴言等の一切ありえない指導を貫徹する。

（2）生徒間の暴力禁止

- ・生徒間の暴力が一切ありえない雰囲気を貫徹する。

（3）外部指導員の活用

- ・本校美術科講師に外部指導員として週一回来てもらい、技術的指導をしてもらう。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 作品制作
	5	作品制作
	6	作品制作
	7	作品制作
	8	作品制作 スケッチ行
2 学期	9	作品制作 文化祭準備 文化祭作品発表
	10	作品制作
	11	作品制作
	12	作品制作 東京都高等学校文化祭美術・工芸部門中央展作品発表
3 学期	1	作品制作
	2	作品制作 文化部発表会作品発表
	3	作品制作

令和 5 年度 写真部の指導方針等について

令和 5 年 4 月 21 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	阿部 魁斗			
副顧問	北洞 拓郎			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・文化祭・文化部発表会での展示に向けて撮影等の活動を行う。
- ・外部のコンクールでの入賞を目指して日々の活動に取り組む。
- ・年間を通してカレンダー作成を行う。

3 指導方針

- ・活動は体育祭・文化祭・文化部発表会・球技大会の撮影を中心に、日々の活動もしっかり行い、技術向上に努める。
- ・定期掲示を行い、写真部の存在を知ってもらえるように活動する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

体罰関連行為のガイドラインを活用する。

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生、同級生同士の間で暴力による問題解決を図ることのないよう指導をする。

(3) 外部指導員の活用

外部指導員は活用しない。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	・年間を通してカレンダー作り
	5	・体育祭（撮影） ・写真甲子園
	6	
	7	
	8	
2 学期	9	・都駒祭
	10	
	11	
	12	
3 学期	1	・文化部発表会準備 ・文化部発表会
	2	
	3	球技大会

令和 5 年度 ESS 部の指導方針等について

令和 5 年 4 月 27 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	岩崎 純子			
副顧問	江原 康代			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・ ビデオや CD など音声教材を用いて楽しく英語を学ぶ。
- ・ テーマに基づいてディスカッションをしたり、ライティング講座で意見を書いてみることで、論理的思考力を身につける。
- ・ スキットなどドラマ的アプローチを取り入れ、英語の表現力を高める。
- ・ 英検の取得やスピーチコンテスト参加を目標に英語の運用能力を高める。
- ・ Native teacher との交流により、外国の言語や文化に対する理解を深める。
- ・ Online で海外の生徒との交流を深める。

3 指導方針

- ・ 毎週火・木曜日放課後に行うが、文化祭の準備や発表の前にはこれ以外にも活動を行う。
- ・ 生徒の創造的主体性を最大限に引き出す。
- ・ 生徒間の協調性や責任感を育てる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・ 体罰、暴言の一切ありえない指導を徹底する。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・ 上級生から下級生、同級生同士の間で暴力により問題解決をはかるような雰囲気にならないよう、日ごろから指導を徹底する。

(3) J E T 指導員の活用

顧問と J E T 指導員両者が話し合った上で、共通理解を図った上で指導行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	自己紹介 年間計画
	5	ハワイとオンライン交流 以降香港との交流も可能な限り行っていく。(随時)
	6	ゲーム
	7	Discussion 英検対策
2 学期	8	スピーチコンテスト準備 文化祭準備
	9	文化祭準備 ビデオ鑑賞
	10	ハロウィーン
	11	Discussion ボードゲーム 英検対策
3 学期	12	Discussion クリスマス
	1	ビデオ鑑賞 discussion
	2	バレンタイン ゲーム
	3	1年間の振り返り 来年度の目標決め

令和 5年度 演劇部の指導方針等について

令和 5年 4月 6日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	後飯塚由香里	富澤 多佳子	駒 44 全国大会演出	90 h/年
副顧問	芳賀紀久美	北川 莉那	部活動指導員	90 h/年
副顧問	松原 千尋			
副顧問	新村 敦			

2 年間目標

- 個々の生徒が集団表現の中で自分を表現し、やりがいを感じながら個人の様々な能力を向上させ、仲間と総合芸術を作る楽しさを知る。
- 地区大会および都大会をはじめとする上位大会に選出されるに足る上演
- 対外的な交渉等を通して社会性を養い、他校との人間関係を構築する機会を生かして、表現の幅を広げ、他者に対する受容性を高める。

3 指導方針

- (1) 練習の質の工夫
練習は、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や公演等の計画
他校との交流もはかりながら、校内公演、地区大会、地区行事に参加していく。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣いを心がけ、自ら進んで進んでリーダーシップがとれる、他の生徒の模範となるよう促す。劇場スタッフの方や大会運営を担う方々に敬意を持って接し、自らも運営スタッフとして積極的に活動するよう指導する。
- (4) 生徒相互の人間関係
演劇部として共に作品を作る中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。
- (6) 安全性の確保
稽古・上演とも十分に安全性に配慮し、事故の起こらない事前準備を促す。体調管理、気持ちのコントロールを促す
- (7) 戯曲および実際の上演に触れる機会を紹介し、「言葉」「演出」に関する興味関心を啓発する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
高い表現レベルを求めることと、威圧的に部員の精神を追い込むこととの違いを認識し、感情的な暴言を生徒にぶつけることのない指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止
感情の暴発に繋がらないように生徒間の鬱屈に注意し、部長等との連絡を密に、状況の把握に努める
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容	
1 学期	4	新入生歓迎公演 照明・音響体験会 寸劇練習・基礎練習 シアターゲーム 自己紹介日（3年～1年） 台本の種を書く（全員）	
	5	寸劇大会準備 山手城南地区総会 高等学校演劇連盟総会 地区行事 新人戦（F-stage）参加	
	6	文化祭・地区大会向け台本書き 山城祭（地区行事） 地区大会 公演日程抽選会	
	7	地区大会用作品作り 基礎練習 東京都高等学校演劇連盟の合宿に参加	
	8	文化祭に向けての稽古 文化祭準備 照明設置 ステージ準備	
	2 学期	9	文化祭準備 文化祭公演 舞台バラシ 地区大会用 作品作り直し
		10	地区大会（駒場アゴラ劇場）
		11	11月下旬 上手くすると都大会
12		文化部発表会準備 山手城南地区クリスマス公演	
3 学期	1	文化部発表会準備 照明設置 舞台設置 同時並行で、新入生歓迎公演の準備	
	2	文化部発表会公演（2日間） 三送会準備 山手城南地区学年末公演準備	
	3	新入生歓迎会準備 三送会 地区合同学年末公演 三年生卒業公演	

令和 5 年度 茶道 部の指導方針等について

令和 5 年 4 月 2 8 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	竹花康男	濱本祐子		
副顧問	十亀有紀			
副顧問	上村朋子			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・表千家茶道の基本的所作の習得
- ・茶道文化の理解

3 指導方針

- ・少人数の活動により、部員相互の協力関係・親睦を深める。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・顧問・指導員ともに、人権・教育的活動の意識の徹底

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・生徒意識の向上を図る

(3) 外部指導員の活用

- ・基本技能の伝授

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4 5 6 7 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本技能の習得
2 学期	9 10 11 12	<p>文化際でのお点前披露</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬の茶会（上野公園）参加
3 学期	1 2 3	<p>文化部発表会参加</p>

令和5年度 箏曲部の指導方針等について

令和5年 4月 28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	西川かおり	美蔦洋子		
副顧問	柴田晶子			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 琴に親しみ、楽しく演奏する。
- (2) 伝統芸能である琴の演奏方法や、作法などを学ぶ。
- (3) 部員同士教えあい、練習し合うことで、学年を超えた交流をはかる。

3 指導方針

- (1) 週一回の先生のご指導を基本にしつつ、他の2回の活動日に真面目に練習して演奏する力を高めるよう指導する。
- (2) 生徒の自主的な部活動運営を促す。
- (3) 入学式のホールでの演奏など、発表の機会を大切にし、それに向けて皆で努力して上達するという雰囲気を大切にする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
伝統文化である琴の指導者の先生の丁寧な言動をお手本に、礼儀正しく和やかな活動を維持する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
協調性を必要とする琴の演奏を通して、皆を尊重する態度を養う。
- (3) 外部指導員の活用
これまで本校の卒業生で、琴の教授の資格を持つ指導員の先生に30年以上にわたってご指導いただいていたが、今年度より新たに美蔦洋子先生にご指導いただくこととなった。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期		入学式での演奏に向けての練習
	4	入学式に玄関ホールで新入生歓迎の演奏を行う。 対面式にて部活動紹介（一曲演奏）
	5	一年生の指導及び各学年ごとの課題曲の練習
	6	各学年ごとの課題曲の練習
	7	文化祭で弾く演目の決定及び練習
	8	学校見学者向けお琴教室の開催 文化祭での演奏曲の練習
2 学期	9	文化祭へ向けてポスターなどの準備 練習及び演奏会の準備、予行演習など 文化祭での発表
	10	各学年ごとの課題曲の練習
	11	各学年ごとの課題曲の練習 及び学校説明会での演奏
	12	文化部発表会で弾く演目の決定及び練習

3 学期	1	文化部発表会に向けた練習
	2	文化部発表会の準備及び練習 文化部発表会 卒業式での演奏演目の決定及び練習
	3	入学式での演奏曲目の決定及び練習

令和5年度
駒場フィルハーモニーオーケストラ部の指導方針等について

令和5年4月17日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	北村 由里子	大澤 和幸	本部活指導 17年目	年 8回
副顧問	赤堀 太郎	門倉 茜	本部活指導 4年目	年 24回
副顧問	恒藤 碧	羽山 泰喜	本部活指導 10年目	年 10回
副顧問	宮川 悦子	小村 文乃	本部活指導 4年目	年 230時間
副顧問	江原 康代	平山 卓真	本部活指導 10年目	年 56時間

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
日本学校合奏コンクール録音審査通過、合奏コンクール本選出場を果たして金賞受賞を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、年間1回は保育園に赴き出張演奏を行う。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間を基本とする。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
オーケストラの活動を通して、協調性や責任感を育成する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間確保のため部活動の時間が過多にならないよう配慮する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していくために、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	入部式
	6	定期演奏会 室内楽コンサート
	7	サマーコンサート
2 学期	8	第 47 回全国高等学校総合文化祭 鹿児島大会 夏季合宿
	9	都駒祭にて演奏 コンサート 日本学校合奏コンクールに録音審査音源提出
	10	中部フェスタにて演奏
	11	高文連音楽部門 地区大会 日本学校コンクールグランドコンテスト（録音審査通過した場合のみ）
	12	双葉の園保育園にて演奏（1年のみ） クリスマスコンサート（部内行事） 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
	1	高文連音楽部門 中央大会
3 学期	2	文化部発表会
	3	卒業コンサート

令和5年度 科学部の指導方針等について

令和5年4月21日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	滝 隼人			
副顧問	水上 寛子			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 科学的な探求心・興味・関心を養う。
- (2) 部員各人が研究テーマを追求する。
- (3) 部員相互の交流を図り、テーマに関する意見交換等を行い、見識を高める。

3 指導方針

- (1) 自習的・自発的な発想を尊重する。
- (2) 文化的な発表の場で、活動の成果を表現する。
- (3) 実験等に際しては、安全に配慮する。
- (4) 計画性を持って、時間を有効に使う。
- (5) コロナ感染症が収束するまで、感染対策を最優先に活動を行う。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
部員相互で尊重し敬意を持って接することを重視し、体罰・暴言等のない指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止
協調性を大切にし、安全で落ち着いた中で活動が行える態度を養う。
- (3) 事故防止・安全配慮
実験等で事故が起こらないよう、きちんと計画をたてることを指導し、高い安全性を図る。
コロナ感染症対策として、手指消毒を徹底し、密を避け、不要不急の活動は控える。
- (4) 外部指導員の活用
必要があれば、活用を図る。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	6	生徒会部活動紹介
	7	研究活動
	8	研究活動
2 学期	9	都駒祭参加
	10	研究活動
	11	研究活動
	12	研究活動
3 学期	1	研究活動
	2	文化部発表会
	3	研究活動

令和5年度 放送局 (部)の指導方針等について

令和5年4月6日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	杉浦 忠雄			
副顧問	長藤 敬			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
NHKコンクール、高文祭コンクールの決勝出場を目指して練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、夏期休業中に、目黒区の行事である「目黒区リバーサイドフェスティバル」の放送関係を担当する。(本年度は実施未定)

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に3日間(昼休み)とし、20分～30分の短時間に、モチベーションを高くもち、集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
文化祭、文化部発表会にも放送関係の企画で参加し、落ち着いて人前で演じる力を伸ばす。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングや発声理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
- (4) コロナ感染症対策に配慮し、放送室の換気を心掛ける。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介の予行，放送施設確認 部活紹介および新入生への説明 始業式 入学式
	5	体育祭
	6	NHK 放送コンクール
	7	終業式 目黒区リバーサイドフェスティバル(未定)
	8	文化祭の準備 夏の講習会
2 学期	9	始業式 文化祭
	10	
	11	高等学校総合文化祭 放送コンクール
	12	終業式 文化部発表会の準備
3 学期	1	始業式
	2	文化部発表会
	3	卒業式 ダンス発表会、宿泊防災訓練 修了式 部活紹介の準備 春の講習会

令和5年度 新聞局の指導方針等について

令和5年4月23日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	中山 光			
副顧問	赤堀 太郎			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 「ハイレベルの文武両道」を目指す本校において、広く社会に目を向け、批判的精神を持って報道活動を展開する。
- (2) 70年以上の歴史を持つ「駒場高校新聞」の伝統を受け継ぎ、それをさらに発展させる。
- (3) 新聞局の理念および編集方針として次の3点を掲げている。
 - ①記録を残す（伝統を引き継ぐ&伝統をつくる）
 - ②社会問題に目を向ける（批判精神を持つ）
 - ③駒場高校の情報を共有する（日常に根ざす）

3 指導方針

- (1) 毎週1回編集会議を開いて編集方針を確認し、タイムリーなテーマを取り上げるよう指導する。
- (2) 単なる興味本位の記事にならないよう、取材対象や出来事の背景を考えさせるよう指導する。
- (3) 局員個別の作業とならないよう、取材活動や入力作業、校正作業などの際に、協力して活動するよう指導する。
- (4) 常に問題意識を持つよう、学校だけでなく社会全体に目を向けるよう指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 局員の自主性と自発性を重視し、顧問の思想や考えを押しつけることのないよう、体罰・暴言等のない指導をおこなう。
- (2) 上級生と下級生との垣根をなくし、生徒間の暴力を禁止する。
- (3) 文化部推進校予算を活用し、新聞作成用資材の充実を図る。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	駒場高校新聞 299 号発行 毎週最低一回の編集会議を開催して、次号と次々号の内容について検討を重ねる。新聞一号を発行するまでに、最低3ヶ月程度の準備期間を設けている。なお、発行直前の2週間ほどは、ほぼ毎日昼休みと放課後に活動する。
	5	
	6	駒場高校新聞発行
	7	全国高校総合文化祭（鹿児島）参加
2 学期	9	駒場高校新聞発行
	10	
	11	新聞交流会・都高文連総会参加
	12	駒場高校新聞発行
3 学期	1	
	2	駒場高校新聞発行
	3	駒場高校新聞卒業式特別号発行

令和5年度漫画研究部の指導方針等について

令和 5年 4月 6日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	坂下 榮治			
副顧問	齋藤 慶子			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

漫画文化の発展に寄与すべく、漫画の研究を行う。

3 指導方針

イラストや漫画の技術的側面のみならず、表現としての漫画の可能性を追求させ、心身ともに健全に発達するよう指導する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

外部指導員は活用しない。

(5) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	
	6	
	7	
	8	
2 学期	9	文化祭参加
	10	
	11	
	12	
3 学期	1	文化発表会参加、四校合同誌作成参加
	2	
	3	

令和5年度 文芸部の指導方針等について

令和5年 4月6日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	吉田 久仁子			
副顧問	永峰 寿子			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (4)年に3回、部誌「Rのない月」を発行する。
- (5)部員同士で互いの作品を評価することで、より洗練された作品を目指す。
- (6)学年を超えた交流をはかる。

3 指導方針

- (4)月に2回程度、ミーティングを行い、各自の作品の進捗状況を確認する。
- (5)部員の自主性と個性を尊重しながら、印刷・製本などについては部員全員で協力する雰囲気を大切にする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
教員・生徒がお互いを尊重する活動を維持する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
お互いを尊重する活動を維持する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	年間活動方針の確認
	5	作品制作開始
	6	
	7	作品の進捗状況の確認
	8	
2 学期	9	文化祭へ向けて部誌の印刷・製本、ポスターなどの準備 文化祭での発表
	10	文化部発表会での発表内容確認
	11	作品制作開始
	12	
3 学期	1	作品の進捗状況の確認
	2	文化部発表会の準備 文化部発表会
	3	1年間の総括および新年号の計画立案

令和5年度 百人一首部の指導方針等について

令和5年 4月 20日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	石川 俊 幸	藤 本 隆 史	B級2段	月1回
副顧問	長谷川 佳 男	清 拓 郎	A級5段	月1回
副顧問	小 澤 千 里	沖 山 槇之介	A級4段	月1回
副顧問	田 中 啓 之	赤 崎 遥	A級5段	月4回
副顧問	最上谷 明 信			

2 年間目標

- (1) 高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会（近江大会）への出場および上位入賞を目指し、日々の練習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 練習は、原則週に五日間とし、練習時間は、平日二時間、休日四時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 高等学校文化連盟主催の大会の他、各種かるた会主催の大会に参加し、技術の向上を図る。
- (3) 挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動の両立を定着させるよう、保護者と連携をとりながら指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問と外部指導員、保護者で連絡を密に取りながら体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	高等学校総合文化祭代表選考会 さがみ野大会 東京吉野大会 保護者会
	6	全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会東京予選 東京都かるた大会
	7	多摩大会 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
2 学期	8	高等学校総合文化祭 合宿 全国学生選手権
	9	都駒祭 関東大会東京予選
	10	府中白妙大会 東京吉野大会
	11	関東大会
3 学期	12	都立高校大会 育成職域大会
	1	新春大会 東京東大会 横浜大会
	2	文化部発表会 東京白妙大会 静岡大会
	3	全国学生選手権 全国職域かるた大会

令和5年度 沖縄太鼓部の指導方針等について

令和5年4月20日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	中山 潤一郎			
副顧問	外側 淳久			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・年間を通じて沖縄太鼓を練習しながら沖縄の風土、社会、文化を体験させる。
- ・沖縄太鼓の演奏を通じて豊かな創造性を養う。
- ・沖縄太鼓の演奏を通じて協同の精神を養う。
- ・作品発表を通じて主体性を養う。
- ・ハイレベルの文武両道の達成を目指す。

3 指導方針

- ・通常の様子は、昼休み、放課後に活動を行う。
- ・文化祭・文化部発表会等の前には、これ以外の日時にも活動を行う。
- ・生徒の主体的創造性を最大限引き出す。
- ・技術の向上を目指すとともに、豊かな心の涵養を目指す。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・体罰・暴言等の一切ありえない指導を貫徹する。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・生徒間の暴力が一切ありえない雰囲気を貫徹する。

(3) 外部指導員の活用

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	練習
	6	練習
	7	目黒リバーフェスティバル参加 一年生奉仕活動
	8	練習
2 学期	9	文化祭準備 文化祭演奏
	10	練習
	11	練習
	12	
3 学期	1	作演習
	2	練習 文化部発表会演奏
	3	目黒一中にてふれあいコンサート参加